

1 実践の概要

実践校・園	鹿角市立尾去沢中学校
タイトル	暴風雪による集団下校訓練
実施月日（曜日）	平成24年12月19日（水）
実施場所	鹿角市立尾去沢中学校及び学区地域
想定 場面	時間帯 放課後（6校時終了後） 災害の種類 暴風雪警報発令
参加者	全校生徒88名・教職員12名

2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●																																																
<p>目的</p> <p>非常時に各地区ごとに集団下校させることになった際に、生徒が敏速かつ安全に集団下校できるようにするとともに、職員個々の役割を確認し、適確に対処できるようにする。また、積雪時における通学路の危険箇所を確認する。</p>																																																	
<p><事前></p> <ul style="list-style-type: none"> 企画委員会への提案 職員会議での共通理解 生徒への訓練の予告と帰宅グループの確認 <p><当日></p> <p>1 事案発生（14：00）</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋田県全域に「暴風雪注意報」、鹿角地域に「暴風雪警報」が発令される。 外は少し風があるものの風雪はそれほど強くない。以後、急速に強まると予想される。 <p>2 緊急職員打合せ（14：15）休み時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動や放課後の活動を取りやめ、風雪の弱い現在の状況のうちに全校生徒を帰宅させることを決定する。 <p>3 緊急メールの配信（14：25）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者に向け、訓練により集団下校する旨のメールを配信する。 <p>4 生徒への連絡（14：25）</p> <ul style="list-style-type: none"> 6校時に教科担任が集団下校することを生徒に伝える。 保護者が迎えに来ることになっている生徒、帰宅しても家には入れない生徒 	<p>○昨年度と全く同じ内容にならないよう変化をもたせ、今回は集団下校しながら危険箇所の確認を行うことにした。</p> <p>●職員数の関係で地区班ごとのグループ作りができず、地区班を越えて通学路のまとまりごとに帰宅グループを編成し直して名簿を作成し、提示した。</p> <p>○引き渡しカードを作成し、事前に必要事項を記入させて回収し、非常時に備えている。</p> <p style="text-align: center;">生徒引き渡し・緊急時連絡カード</p> <table border="1"> <tr> <td>1 生徒氏名</td> <td></td> <td>性別</td> <td></td> <td>学年・学級</td> <td>年 組 番</td> </tr> <tr> <td>2 住 所</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>3 保護者名</td> <td></td> <td>生徒との関係</td> <td></td> <td>電話</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 兄弟姉妹</td> <td>（ 有 ・ 無 ）</td> <td colspan="4">年 組 番 氏 名</td> </tr> <tr> <td>5 緊急時の連絡先</td> <td colspan="5">電話（ ）</td> </tr> <tr> <td>6 引き取り者名</td> <td></td> <td colspan="2">本人との関係</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>7 避難先</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>8 引き渡し日時</td> <td>月</td> <td>日</td> <td>時</td> <td>分</td> <td>教職員名</td> </tr> </table> <p>○本校では、今年度初めに緊急メールの体制を整備したが、利用するのは、震災等の非常時と限定しているため、メール配信の練習や保護者にメールが届いているかをこの機会に確認することにした。</p> <p>○全体会で、翌朝、休校や始業時間を遅らせる措置をとる場合は、緊急連絡網による電話連絡と緊急メールで6：40</p>	1 生徒氏名		性別		学年・学級	年 組 番	2 住 所						3 保護者名		生徒との関係		電話		4 兄弟姉妹	（ 有 ・ 無 ）	年 組 番 氏 名				5 緊急時の連絡先	電話（ ）					6 引き取り者名		本人との関係				7 避難先						8 引き渡し日時	月	日	時	分	教職員名
1 生徒氏名		性別		学年・学級	年 組 番																																												
2 住 所																																																	
3 保護者名		生徒との関係		電話																																													
4 兄弟姉妹	（ 有 ・ 無 ）	年 組 番 氏 名																																															
5 緊急時の連絡先	電話（ ）																																																
6 引き取り者名		本人との関係																																															
7 避難先																																																	
8 引き渡し日時	月	日	時	分	教職員名																																												

を確認する。

5 帰りの会（15：15）

- ・短時間に教科連絡のみ行う。

6 体育館への集合（15：25）

- ・帰宅準備を済ませて速やかに集合させる。
- ・学級ごとに整列させる。

7 全体会

- ・訓練の目的を説明する。
- ・想定している現在の状況を説明する。
- ・集団下校時の注意事項を確認する。
- ・明日の連絡をする。
- ・地区ごとに整列する。

8 下校開始

- ・地区ごとに人員を確認した後、地区長を先頭に出発する。
- ・危険箇所を確認しながら下校する。

9 地区担当職員からの報告

- ・無事帰宅させた確認の電話を学校にする。

<事後>

- ・反省会の実施
- ・アンケートの記入
- ・職員会議でのアンケートの報告

までに各家庭に知らせることや、連絡が来なくても暴風雪等で登校が困難な場合は無理に登校しないこと、また午前6時の時点で広域にわたる停電や断水が復旧していない場合は休校になることをこの機会に確認した。

○全職員が学校に戻り次第、打合せを行い、反省事項や危険箇所を挙げてもらい、訓練を振り返った。

○今年度は、避難訓練を5回実施することになっているが、毎回職員にアンケートをとり次回に生かすようにしている。また、その内容は記述だけでなく項目ごとの評価を数値で示すようにしている。



平成24年度 「第4回避難（集団下校）訓練」 反省

H24.12.25 総務・教務部

○避難訓練評価結果（11人回答）

項 目	4	3	2	1	平均
①生徒は真剣に訓練に取り組んでいたか	4 (40.0%)	6 (60.0%)			3.4
②生徒は指示を守ってきびきびと行動していたか	6 (60.0%)	4 (40.0%)			3.6
③職員は引率等、適切に行動していたか	10 (90.9%)	1 (9.1%)			3.9
④通学路の危険箇所を確認することができたか	8 (72.7%)	3 (27.3%)			3.7
⑤訓練の内容は適切であったか	8 (72.7%)	3 (27.3%)			3.7

1 訓練の内容や計画について、気付いたこと

- 下校訓練としては十分な計画だと思う。
- 一度は集団下校訓練をやっておくべきだと感じた。

○生徒が集団下校で帰宅することから、この日を「ゆとりの日」（定時退勤の日）として、打合せ終了後、勤務時間終了に合わせて職員も一斉退校するようにした。

連携先	団体名・組織名	連携の内容
保護者・PTA関係	・保護者	・帰宅の受入

3 成果と課題

成 果	<p>1 訓練を行ったことで非常時には混乱なく集団下校することへの共通理解を図ることができた。</p> <p>2 地区長（帰宅グループリーダー）をはじめとするグループによる下校の仕方を確認することができた。</p> <p>3 積雪時における通学路の危険箇所を確認することができた。</p> <p>4 緊急メールの送信状況を確認することができた。</p>
課 題	<p>1 道路を横断する際に雪の壁により見通しが悪く危険な場所がある。</p> <p>2 積雪により道幅が狭くなったり、歩道が通れなくなったりして危険である。</p> <p>3 教職員数に応じた適切な集団下校グループを編成する。</p> <p>4 遠い地区の教職員を、近い地区担当の教職員が迎えに行く計画を確認する。</p>
今後の継続予定	<p>1 引き渡しカードを使った引き渡し訓練を実施する。</p> <p>2 地区自治会と連携し、集団下校を見守ってもらう。</p> <p>3 積雪時における通学路の危険箇所の確認及び改善をする。</p> <p>4 年度初めにおける集団下校グループを確認しておく。</p>